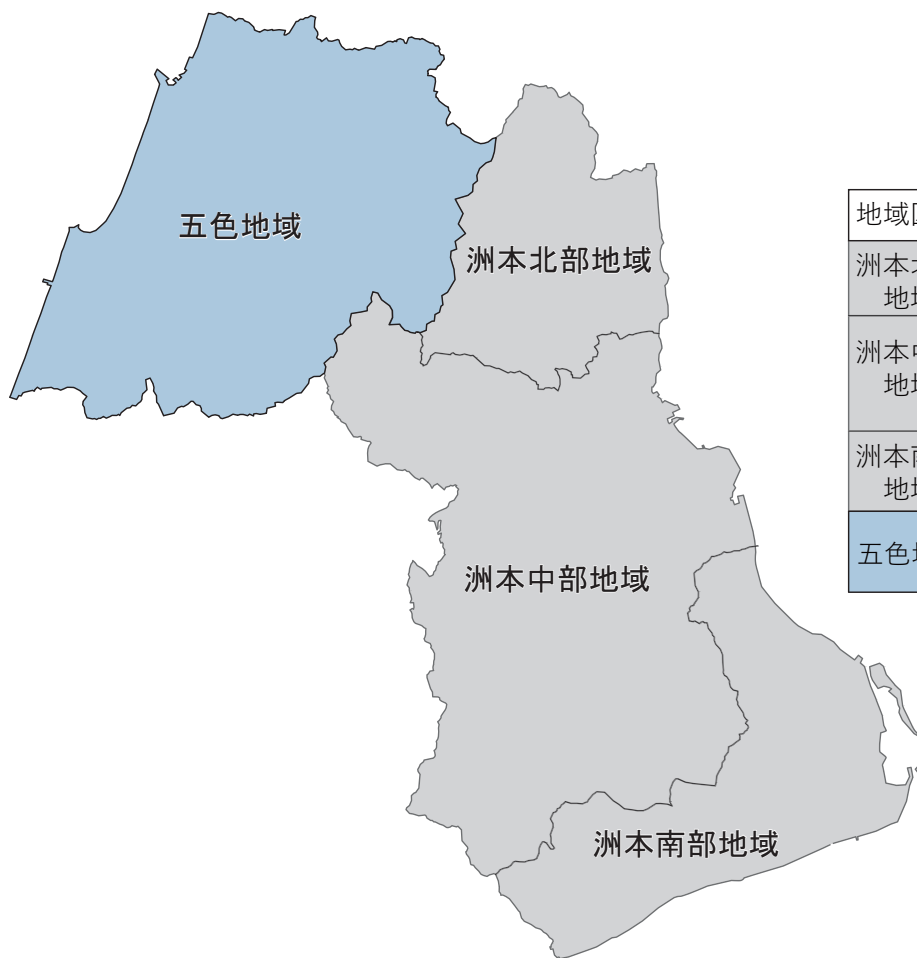


## 5 4 五色地域

### (1) 地域の情報

■五色地域の情報

道路	高速道路,IC	—
	一般国道	—
	主要地方道・一般県道	主要地方道洲本五色線、主要地方道福良江井岩屋線（サンセットライン）、主要地方道大谷鮎原神代線、一般県道鮎原江井線、一般県道多賀洲本線、一般県道安乎鮎原線、一般県道鳥飼浦洲本線、一般県道倭文五色線
	その他の主な道路	—
主要な施設		市役所五色庁舎、都志港、風力発電施設、五色図書館（えるる五色）、定住・交流促進センター（鮎愛館）、五色台運動公園（アスパ五色）、洲本市五色地域福祉センター（みやまホール）、淡路広域消防事務組合洲本消防署五色出張所
文化財・観光資源		高田屋嘉兵衛公園（ウェルネスパーク五色）、高田屋顕彰館・歴史文化資料館（菜の花ホール）、五色県民健康村、新都志海水浴場、五色浜、鮎原の棚田、白築城跡、極楽寺の六面石幢、浄土寺の石造宝篋印塔、鳥飼八幡宮のホルトノキの巨木、あみだ堂の石造五重塔（下堺地区）、上堺の石造五輪塔、河上神社のイブキ、都志大日の石造五輪塔、下堺の築穴古墳、延長寺の石造宝篋印塔
自然、公園		南あわじ市から続く国立公園、五色台運動公園（アスパ五色）、サンセットパーク五色



■位置図

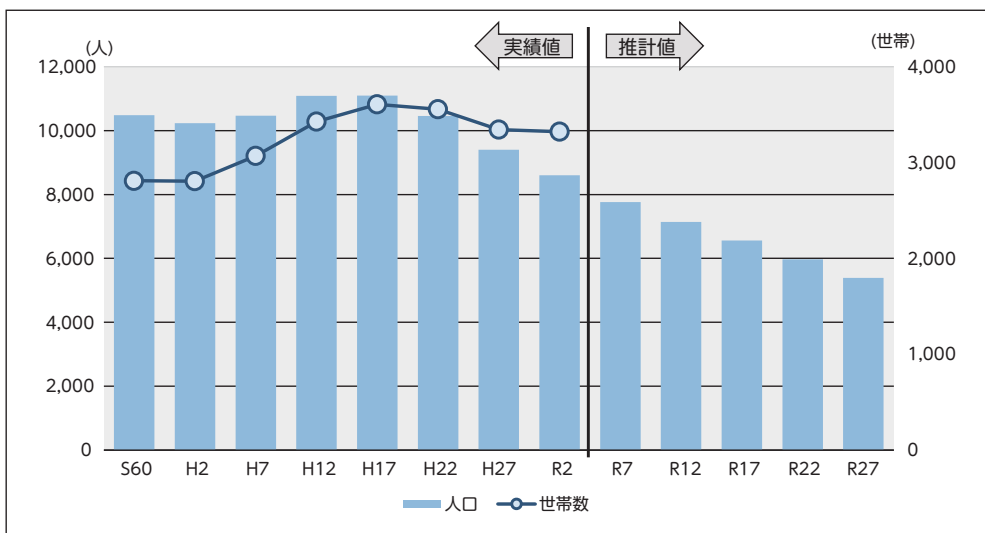
地域区分	該当地区
洲本北部地域	中川原・安乎
洲本中部地域	内町・外町・潮・物部・上物部・小路谷・千草・加茂・大野・納・鮎屋
洲本南部地域	上灘・由良
五色地域	都志・鮎原・広石・鳥飼・堺

## (2) 地勢

本地域は、市域の北西部に位置し、播磨灘に面しています。  
 東部に先山山系、中部の丘陵地には田園が広がっています。  
 地域の臨海部を（主）福良江井岩屋線が、中央を（主）大谷鮎原神代線が縦断し、（主）洲本五色線、（一）鳥飼浦洲本線が横断しています。

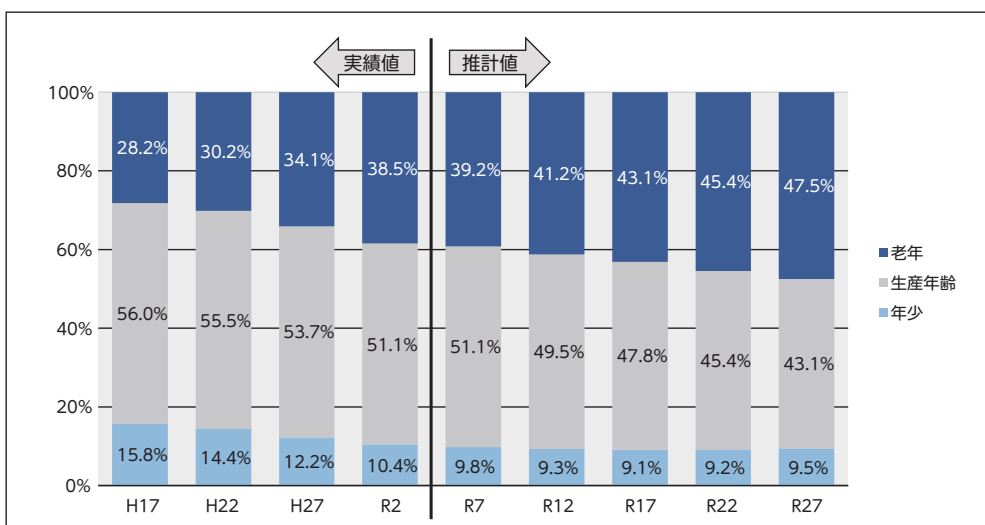
## (3) 人口・世帯数及び将来人口の推移

人口・世帯数は平成 2（1990）年を底値に増加し、平成 22（2010）年から減少に転じています。  
 令和 2（2020）年の老年人口構成比（38.5%）は、市平均（36.8%）より比較的高く、生産年齢人口構成比（51.1%）が、市平均（51.7%）より低いいため、市内の中では年齢層が比較的高い地域です。



■人口・世帯数の推移

出典：実績値：国勢調査結果  
 推計値：国立社会保障・人口問題研究所（平成 30（2018）年）推計結果



■年齢三区分別人口の推移

出典：実績値：国勢調査結果  
 推計値：国立社会保障・人口問題研究所（平成 30（2018）年）推計結果

## (4) アンケート結果概要

人口	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定住意向割合：約 56% (全市：約 60%) ↓</li> <li>・住み心地に対する満足度：「若者が定住しやすいまちづくりの推進」において不満の割合：82.1% (全市：83.4%) ↓</li> <li>・人口減少高齢化の進展：「空き家や空地が増加する」 55.6% (全市：57.7%) ↓</li> <li>・まちづくりに重要なこと：「若者が定住しやすいまちづくりの推進」 9割超 (全市：9割超)</li> </ul>
産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・転出する(したい)理由：「働く場所がない」 34.4% (全市：28.2%) ↑</li> <li>・淡路島中央 SIC 周辺の土地利用：「観光交流施設の設置 (44.8%) (全市：38.3%)」 ↑、「企業の誘致 (27.3%) (全市：26.4%)」 ↑</li> </ul>
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住み心地の満足度：「空き家・空き地」で不満割合：87.0% (全市：84.5%) ↑</li> <li>・「大規模未利用地の活用」で不満割合：79.5% (全市：78.5%) ↑</li> <li>・土地利用の進め方：「市街地の空き地などを有効利用する」 21.1% (全市：36.8%) ↓</li> </ul>
建築施設分布	<ul style="list-style-type: none"> <li>・転出する(したい)理由：「生活が不便」 75.0% (全市：56.5%) ↑</li> <li>・徒歩で行ける範囲で充実させたい施設：「食料・日用品店舗 (48.5%) (全市：42.1%)」 ↑と「診療所、医院 (36.8%) (29.4%)」 ↑</li> </ul>
都市施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住み心地に対する満足度：「都市施設(河川、公園、道路)の維持」で満足割合 43.9% (全市：43.1%) ↑</li> <li>・30代の22.6% (全市：40.0%)が「公園、緑地」を徒歩圏で充実させたい施設 ↓</li> </ul>
防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりに重要なこと：「防災(耐震・避難場所等)」、「治水対策」(9割超) (全市：9割超)</li> </ul>

## (5) 地域の課題

- ・五色地域全体で将来にわたり人口減少傾向が続くと想定されることから、集落機能の維持が課題となっています。
- ・(主) 大谷鮎原神代線沿いに整備された住宅団地や沿道の集落、堺地区などでは商業施設が、また、広石地区で医療施設が充分とは言えません。
- ・高齢化による農家の担い手不足、耕作放棄地の増加、鳥獣被害などが深刻な問題となっています。
- ・都志川の河口部に都志地区の中心部が位置するため、依然として洪水の浸水想定区域が残ったままとなっており、水害リスクの低減のためハード、ソフトの両面の施策の検討が必要となっています。
- ・地域の公園など、自主管理が困難になってきています。
- ・住民意向では、空き地の活用より集落の整備や農業振興による農地の保全を希望する声が高くなっています。また不便であることを転出の理由に挙げている意見が他地域より多く見られました。さらに、徒歩で歩ける範囲に食料日用品店舗や医療施設を希望する声が他地域より多くみられました。

## (6) 地域の将来像

# 西海岸を活かしたまちづくり

## (7) 地域づくりの基本方針

### 1) 土地利用の方針

- ・地域の代表的な公共機能等が集約され、都志川下流部・都志港周辺に発達した都志地区や鮎原地区では、生活上重要となる健康・福祉機能と観光機能の充実を図ります。
- ・不足する都市機能については、各地域拠点または隣接市との連携によって相互補完します。
- ・空き家を除却していくことだけでなくゆとりある暮らしのための活用などを検討するとともに、危険な空き家については適正な管理に向けた指導を行います。
- ・本市の特徴的な産業である農業や観光業といった地場産業の育成を図ります。
- ・医療体制の充実に向けて検討します。
- ・アスパ五色については花と緑があふれる交流の拠点づくりを目指します。
- ・ウェルネスパーク五色は、淡路島西海岸の地域活性化拠点施設として「道の駅」の整備による地域の活性化を目指します。

### 2) 道路・公共交通の方針

- ・主要地方道福良江井岩屋線、主要地方道大谷鮎原神代線沿道では、円滑な交通の確保と周辺環境に調和する沿道サービス機能の充実を図ります。
- ・現在運行している五色地域コミュニティバスの維持充実に努めます。加えて、新しいモビリティの導入による活性化支援や、周遊観光行動に対応した移動手段の整備を検討します。
- ・新たな情報通信技術の活用によって、路線バスやコミュニティバス等の効率的な運行を図ります。
- ・ネットワークの連続性の観点から、アワイチルートの整備を目指します。

### 3) 公園・下水道等の整備方針

- ・公園等は、災害時の避難場所としてだけでなく、心と体の健康を保ち、感染症の拡大を防ぐなど、公衆衛生の観点からもより一層重視されつつあるため、地域住民と連携しながら、維持管理の強化に努めます。
- ・地域の活性化のために利用されている公園などの維持管理について支援を検討します。

### 4) 市街地整備の方針

- ・都志川下流部・都志港周辺では、自然環境を保全しつつ、交流空間としての利用の推進とともに生活道路など公共施設の計画的な整備を進め、住環境の向上を図ります。

## 5) 自然環境等の保全の方針

- ・五色地域では、農業生産基盤の整備を進め、優良農用地の確保・保全を図るとともに、自然と共生する快適でゆとりある住環境の維持・創出による良好な集落景観を形成し、多自然居住の推進により地域の活性化を図ります。
- ・豊かな自然を枯渇させることがないよう、市街地内外において環境負荷が少ないまちづくりを進めます。
- ・都志地区から鳥飼地区に至る臨海部では、海域と陸域が一体的に調和した良好な自然環境を活かした交流の場としての活用を推進します。
- ・色彩豊かな五色浜では、海辺の体験活動、環境貢献活動、都市との交流活動などを推進します。
- ・農地を維持するため、鳥獣害対策の強化や担い手の育成などに加え、農地の集積・集約化を推進します。また、他業種との連携を図りながら農村地域のコミュニティ維持に努めます。

## 6) 景観形成の方針

- ・ウェルネスパーク五色等においては、海や山の景観を活かしたりゾートやレクリエーションの場として、明るく活気のある街なみ景観の形成を図ります。
- ・美しい景観づくりに共感する都市住民との交流を進めます。また、農地・里山を管理・整備する担い手を育成することによって、里山や海岸の景観保全に取り組みます。

## 7) 安全安心の方針

- ・可能な限り、災害リスクの低い区域への居住を誘導するとともに、災害リスクの高い地域においては、土地利用規制等を検討するなど、適切な土地利用を図りつつ、都市の防災性の向上に努めます。
- ・地域に多数存在するため池について、防災対策を推進します。
- ・指定緊急避難場所及び指定避難所では、必要な防災機能の確保に向けた取り組みを進めます。
- ・ハザードマップなどを活用し、災害時の危険性が高い地域や、避難方法などに関する情報提供及び意識啓発に取り組みます。また、地元消防団等との協働による防災・減災対策を推進します。
- ・身近な生活道路の整備や適切な維持管理を図るとともに、歩道、通学路の整備や幹線道路の整備を促進し、生活道路への流入車両の抑制を図ります。
- ・カーブミラーについては、その維持管理に努めることに加え、新たに認められた箇所や、見通しの悪い箇所については随時設置を進めます。あわせて、街灯の維持管理を徹底するなど、交通安全施設の整備を推進します。
- ・感染症対策のための、新しい生活様式に対応したまちづくりを検討します。

## 8) その他まちづくりに関する方針

- ・公共施設や遊休地等の既存ストックを活用し、民間企業等の人材やノウハウを活用するなど、活用可能な資源を総動員し、効率的なまちづくりを推進します。
- ・行政、企業、住民の協働による、新しい時代のまちのマネジメントを目指します。
- ・町内会組織の活性化に取り組みます。





## ■五色地域におけるおおむね 10 年以内に整備を予定している主な事業等

## 道路整備

路線名	事業場所	概要	
(主) 洲本五色線	洲本市五色町鮎原南谷	バイパス	L=200m (2車線)
(主) 洲本五色線	洲本市五色町都志大宮	現道拡幅	L=220m (2車線)
美の越線	洲本市五色町都志大宮 ～五色町鮎原小山田	現道拡幅・バイパス	L = 2,550m、W=5.0 m (1車線)
角川中央線	洲本市五色町都志角川	現道拡幅	L = 450m、W=4.0 m (1車線)

## 海岸整備

名称	事業場所	概要	
北角川都志海岸	洲本市五色町都志万歳	護岸	200m
都志港海岸	洲本市五色町都志	防潮堤嵩上げ等	L=0.1km
鳥飼海岸	洲本市五色町鳥飼	人工リーフ・養浜	700m

## ほ場整備

事業種別	事業場所	概要	
塔下	洲本市五色町鮎原塔下	区画整理 A=37ha	
都志大宮	洲本市五色町都志大宮	区画整理 A=20ha	
相原	洲本市五色町鮎原下・中邑	区画整理 A=26ha	

## 河川整備

事業種別	事業場所	概要	
河川	(二) 都志川	高潮対策 L=200m 護岸 他	

## 公園整備

事業種別	事業場所	概要	
高田屋嘉兵衛公園 (ウェルネスパーク五色)	洲本市五色町都志	「道の駅」 特産品販売施設 道の駅休憩施設 他	